

教科目標及び厳格かつ適正な成績管理に関して

学科名	養成目的	教育目標
美容師科	<p>美容のプロフェッショナルとして、最新の美容技術・知識を常に提供でき、トップサロンでお客様から信頼・指示される美容師になる。</p> <p>※ プロフェッショナルの定義・・・「お客様の満足を第一に考え、期待以上のサービスを提供する」</p>	<p>美容の技術・知識・接客が提供でき、トップサロンで即戦力として活躍できる美容師になる。</p> <p>最新の美容を発信する力がある美容師になる</p>
トップスタイリスト科	<p>現場で、※サロンマネジメントが出来る美容師になる。</p> <p>※サロンマネジメントとは、サロン運営にあたり「人」「物」「金」「時間」を意識し、PDCA サイクルを回せるようになる人材になること</p>	<p>デュアル実習を通じて、接客力・技術力・運営力を身に付け、スタイリストデビューを目指す。</p> <p>美容師国家資格取得に向けて、技術・知識を身に付け合格する。</p>
トータルビューティ科	<p>お客様に信頼・信用され、業界のインフルエンサーとして影響力を持つ、ビューティアドバイザー、ファッションアドバイザー、エステティシャン、トータルビューティシャンになる。</p>	<p>お客様を第一に考え、喜んでいただける提案ができるビューティアドバイザー、ファッションアドバイザー、 エステティシャン、トータルビューティシャンになる。</p>
ヘアメイク科	<p>ゲストやクライアントからの要望を把握し、それに適した技術や行動を提供し美容業界で即戦力、そして必要とされる人材となる。</p>	<p>多様化したヘアメイク現場に適した技術力や行動力を身につけ、セルフプロデュースやセールスができるような対応力を身に付ける。</p>
ブライダルヘアメイク科 (ブライダルコーディネーター科)	<p>ブライダルヘアメイクとして人間力と現場力で創造する力を持ち、顧客ニーズに対応できる発信力のある人材になる。</p>	<p>おもてなし力(即戦力)を身につけ、感性を発揮し最新の提案力と技術をもつブライダルヘアメイクになる</p>
高等課程美容科	<p>最新の美容を軸に SNS 等を通じて高い発信力・影響力を持ち、美容業界で活躍できる人材になる。</p>	<p>最新の美容に敏感で、業界から必要とされる技術・知識・感性を生かし、美容業界で活躍できる基礎を身につける。</p> <p>美容業界で必要とされるスキル(能力)や技術だけでなく、自ら考え率先して行動できる人材になる。</p>

<p>カリキュラム 授業方法及び内容 年間の授業計画</p>	<p>授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2021年度はホームページ上でも公表する。</p> <p>また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必須選択の種別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について特記事項を記載している。</p>
<p>成績評価の 基準・方法</p>	<p>定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価する。評価はA・B・C・D・E・Fで行い、D以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定する。定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し実施する。</p> <p>点数100～90点=A評価（GPA=4.0） 点数89～80点=B評価（GPA=3.0） 点数79～70点=C評価（GPA=2.0） 点数69～60点=D評価（GPA=1.0） 点数59点以下=F評価（GPA=0.0）</p> <p>※出席率が8割（7割）に満たない場合はE評価（特別補講を実施）</p> <p>$GPA = \frac{\text{該当科目の単位数} \times \text{各授業で得た GPA の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}}$</p>
<p>卒業・進級の 認定基準</p>	<p>デュプロマポリシーにある建学の理念と4つの信頼や各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の8割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、ブライダルヘアメイク科（ブライダルコーディネーター科）においては7割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科科目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時まで全科目を履修し、学校長が適当を認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。</p>